

子どもの権利に関する書籍

	タイトル	内 容	対 象
1	きみの味方だ！子どもの権利条約 ①子どもの権利ってなんだろう？	子どもの権利条約がわかる、日本の子どもむけに書かれた条約の本。(全6巻) ・子どもの権利条約ってどんなもの？ ・わたしは、ほかのだれでもないわたし ・ゆたかな「子ども時代」をすべての子どもに ・ぼくの話をもっときいて！ ・さあ、条約をつかってみよう	小学校高学年～
2	きみの味方だ！子どもの権利条約 ②子どもにとって家庭ってなに？	・親もいっしょに考えてもらおう ・子どもを育てるってたいへん ・子どもを傷つけないで ・どの子にも家庭が必要だ！ ・国境をこえた家庭	小学校高学年～
3	きみの味方だ！子どもの権利条約 ③子どもの権利で学校をたのしく	・学校はなんのためにあるの？ ・授業をおもしろくしよう！ ・子どもだって人間なんだ！ ・いじめはどうすればよくなる？ ・みんなで学校をよくしよう！	小学校高学年～
4	きみの味方だ！子どもの権利条約 ④子どもだって社会をかえられる	・表現しよう、発信しよう ・マスメディアとのつきあいかた ・子どもも社会の一員 ・非行、犯罪からたちをおるために ・だれにでも居場所のある社会を	小学校高学年～
5	きみの味方だ！子どもの権利条約 ⑤遊ぶことだってたいせつな権利	・遊び、ゆとりのたいせつさ ・ドラッグ、NO！ ・心もからだも健康に ・障害をもつ子どもの権利	小学校高学年～
6	きみの味方だ！子どもの権利条約 ⑥子どもの権利で世界をつなごう	・ストリートチルドレンってどうしているの？ ・戦争ってかっこいい？ ・子どもは物でも、おもちゃでもない ・難民の子どもたち ・子どもがになう地球の未来	小学校高学年～
7	月と太陽と子どもたち	子どもの権利条約童話。 条約の精神を、わかりやすく親しみやすい童話や詩に作品化した本。	小学校中学年～
8	子どもの権利条約実践ハンドブック	子どもの権利条約の精神と内容を現実の学校や家庭、社会の中でどのように生かしていくか理解を深め、それを活かした実践例から学ぶものです。	おとな
9	ハンドブック 子どもの権利条約	条約の内容と精神を条文ごとにやさしく解説、一冊でまるごとわかる便利なハンドブック。正文(英語)とその対訳付。	おとな
10	子どもによる子どものための「子どもの権利条約」	当時中学2年生の子どもが「むずかしい条約文を、子どもにもわかるように」と、自分たちの言葉で訳した本。	小学校高学年～

11	子ども白書 1996年版 「自分づくり」の危機—奪われる子ども期—	I では、人権としての子ども期の保障という視点から、日本社会の問題状況を分析。 II. 子どもの発達と権利保障 -データと資料でみるこの一年 III. こししの“子ども最前線” IV. 特論	おとな
12	子ども白書 2001年版 子ども市民と創る21世紀	I. 子ども市民と創る二十一世紀 II. こししの子ども最前線 III. 特論 子ども研究のこれから IV. 子どもの発達と権利保障 データと資料でみるこの一年	おとな
13	現代学校改革と子どもの参加の権利	「専門職学校自治」の枠組みを超えて、子どもや保護者、住民などによる学校参加がどのように進展しているかなど、日本の学校改革の現状と問題点を考察。「子ども参加型学校共同体」づくりの実践的な展望にせまる。	おとな
14	もうひとりで悩まないで！教師・親のための子ども相談機関 利用ガイド	身近にあるけどよくわからないから行きづらい・・・この本は、子どものことで困ったときにその対応のヒントが得られる、保護者と教師、そして専門家のためのハンドブック。	おとな
15	子どもの貧困 -日本の不公平を考える	OECD諸国の中で第2位という日本の貧困の現実を前に、子どもの貧困の定義、測定方法、そしてさまざまな「不利」と貧困の関係を、豊富なデータをもとに検証する。	おとな
16	居場所のちから 生きてるだけですごいんだ	家庭・学校・地域のなかに安心できる居場所をつくろう！多摩川のほとりで、こだわり続けた「ともに生きる場」。公設民営の「フリースペースえん」が生まれるまでの15年。	おとな
17	子どもが心開くときへと寄り添って おっちゃん和怒心館の十三年	子どもが秘める生きる力を無限に信じ、子どもに寄り添ってきた「おっちゃん」の実践記録と教育・人間・子育て論。 おっちゃん、松井弓夫は校長退職2年後の1994年春、山深い岐阜県八百津町に、不登校、ひきこもり、非行の子どもを受け入れる私塾「怒心館」を開いた。おっちゃんは囲炉裏を囲み子どもらの話や夢にひたすら耳を傾けた。子どもたちは大自然のなかで心開き、自力で新たな生へと立ち上がっていった。	おとな
18	中学生の子を持つ親へ やる気を出させる方法教えます	教職生活を通して感じた子どもたちの心の奥にあるものを探り、子どもたちが明るく、やる気を持ち、生きがいを感じながら生活できるようにするための本。	おとな
19	気持ちの本	人にはたくさんの気持ちがある。うれしい、悲しい、くやしい、さびしい…。どんな気持ちも大切だよ。いろんな気持ちを描いた子どもたちの絵を見ながら、気持ちについて考えてみよう。気持ちを言葉で語ることの大切さを伝える。	おとな 子ども
20	あいちゃんとぼてとやさん	大判紙芝居(手引書付き) テーマは、「自分は大切、みんなも大切」。紙芝居を鑑賞することで、子どもは、子どもの権利が守られた園での生活を追体験する。それにより、自分(の権利)を大切にすること、友だち(の権利)を大切にすることが大事なことだと理解することをねらいとしている。	年中児～
21	むずかしい子を育てるペアレントトレーニング	アメリカで作られたコモンセンス・ペアレンティングを日本流にアレンジ、育てにくい子を上手に育てるための効果的な方法を具体的に紹介。著者が児童養護施設「神戸少年の町」で実際に行ってみて効果を実感したものだけを集めた。内容に即したイラストも満載。	おとな

22	ええところ	<p>こころが元気になる絵本 小学1年のあいちゃんは、背が低くて足もおそくて「100てんなんか1かいもとったことがない」。「わたしって、ええところひとつもないなあ」とともちゃんに言うと…。揺れ動く子どもの気持ちに寄り添い、思いやりと自己肯定感を育てる物語。 明橋大二先生もおすすめ！</p>	4歳から
23	うばわないで！子ども時代 気晴らし・遊び・文化の権利 (子どもの権利条約第31条)	<p>増山均・齊藤史夫 編著 国連が認める「子どもの遊びの権利」が、日本の子どもたちの未来を切り開く。豊富な実践例も踏まえ、日本の子どもたちの現状、持つ力、権利を育む力を考え会いましょう。</p>	おとな
24	「幸せに生きる力」を伸ばす子育て 日本の子ども観・子育て観を見直す	<p>増山均 著 「3.11」が教えてくれた子どもの力 “主体的に行動する力”“仲間とともに生きる力”“自分を癒す力” 管理的・効率的まなざしから、子どもを理解するまなざしへ子どもとの日々がもっと楽しく豊かになるヒント</p>	おとな
25	イラスト版子どもの権利 子どもとマスターする50の権利学習	<p>喜多明人・浜田進士・山本克彦・安部芳絵 著 子どもたちが家庭や学校、地域社会で生活する上で欠かせない権利をとりあげ、実践的に学ぶことができるように編集された権利学習ハンドブック。</p>	おとな
26	いじめ防止対策推進法 全条文と解説	<p>この一冊で「いじめ防止対策推進法」の基本がわかる！全条文のわかりやすい解説と、文部科学省の方針を盛り込んだ一冊。</p>	おとな